



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ みんなで気づく（築く）さわやか天栄

2018.10.26

教育委員会だより No.87

魅力いっぱい 「愛村心（＝尊心）」を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

「つなぐ教育」研究公開

9月14日に、天栄中学校を会場として「つなぐ教育」研究公開を開催し、広戸小学校の理科、大里小学校の外国語活動、天栄中の学校の理科・英語の授業を公開しました。県内各地区の先生方が参観する中、天栄村の子ども達の学び合い、互いに高め合う姿を見る事ができました。

また、各教科等部会では、参観者の方々より貴重なご意見をいただきましたとともに、福島県教育厅義務教育課指導主事の方々から、授業で見せた子どもと教師の関わりを基に、県の施策と関連させながら貴重なご指導をいただきました。

さらに、教育講演会では、麻布教育研究所所長 村瀬公胤様より、「主体的・対話的で深い学びとは」という演題で、当日の授業で見せた何気ない子どもの行動や姿から見取ったその子どもの思いや願い、学びのよさについて具体的なご講演をいただきました。改めて一瞬一瞬に見せる子どもの輝きを見取ることのできる教師の眼差しがより一層求められると感じました。

研究公開で子どもたちは、たくさんの素晴らしい学びを見せてくれました。これも授業実践の積み重ねがあつてこそ子どもたちの姿であると感じました。

公開に向けて指導案検討やその他の準備等にご協力いただきました諸先生方に改めて感謝申し上げます。この公開で培えたものを今後の授業に生かしていきましょう。

ありがとうございました。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活動

学校を取り巻く課題が複雑化・多様化するなか、それらの課題を解決しながら、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現し、子どもたちに資質・能力を身に付けさせていくためには、地域との連携・協働が欠かせません。天栄村では、昨年度より「学校運営協議会」を立ち上げ、11名の委員の皆様と各小中学校、6名の事務局職員が中心となって「地域と共にある学校づくり」を目指して協議会を行っております。今年度は4月から現在まで全体会及び各校で行う協議会を5回ほど開催し、本村や各校の教育的課題、保護者並びに地域の教育活動への参画の在り方等について活発な意見交換が行われました。また、保護者や児童生徒を対象とした「メディア講演会」を各校で開催したり、中学生が地域をアピールするグルメマップを作成したりと、様々な教育活動も展開しております。

少子化に伴う教員数の減少により、学校単位だけでは十分な教育活動を展開していくことが困難な時代です。地域の方々の教育活動への積極的な参画が今、より一層求められています。





生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していくよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○第12回市町村対抗福島県軟式野球大会

9月9日（日）、福島市のあづま球場で、前々回大会優勝の喜多方市と初戦を行いました。グラウンドのコンディションが悪い中でも気迫あふれる試合展開となり、5対3で勝利しました

2回戦は9月22日（土）、信夫ヶ丘球場で前回大会優勝のいわき市と対戦しました。初回から1点を取り好調な試合展開となりましたが、いわき市に逆転を許し、2対6で敗退しました。
選手たちは今大会6年ぶりの初戦突破を成し、今後の新たな目標を掲げていました。



○成人家級

9月19日（水）生涯学習センターにて、成人家級「おなか元気教室」が行われました。郡山ヤクルト販売株式会社の協力で、腸内の健康を維持し、元気な生活を送るために何が必要かについて学習しました。体のつくりや、体をきれいにする食べ物など普段あまり気にしないポイントに目を向けるよい機会となりました。



○演芸大会

9月30日（日）、生涯学習センターにて演芸大会が行われ、舞踊やカラオケ、オカリナや民謡など様々な演目が披露されました。ステージ上で披露される日頃の練習の成果に客席も大いに盛り上りました。

出演者、観客ともに素敵な笑顔があふれる活気のある日となりました。

